2026年11月10日

各　位

会　社　名　日清紡ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　石井　靖二
（コード番号：3105　東証プライム市場）
問い合わせ先　IR・コーポレートコミュニケーショングループ
（03-5695-8833）

業績予想の修正に関するお知らせ

2026年９月９日に公表した2026年12月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2026年12月期　（通期）連結業績予想数値の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 （ Ａ ）	百万円 511,000	百万円 21,000	百万円 21,500	百万円 14,000	円 銭 89.61
今 回 修 正 予 想 （ Ｂ ）	510,000	28,000	28,000	26,000	166.42
増　減　額 （ Ｂ － Ａ ）	△1,000	7,000	6,500	12,000	
増　減　率 （　％　）	△0.2	33.3	30.2	85.7	
（ご参考）前期実績 （2025年12月期 通期）	502,339	26,401	29,327	13,920	89.07

修正の理由

当社グループの売上高は、無線・通信事業におけるソリューションや特機、マリンシステムの売上が好調に推移していることや、アナログ半導体市況の緩やかな復調によりマイクロデバイス事業の売上も回復傾向にあるものの、2026年６月30日の「日清紡メカトロニクス株式会社による成形品事業の譲渡のための吸収分割及び株式譲渡（孫会社の異動）に関するお知らせ」で公表しましたとおり、精密機器事業における成形品事業の売上が減少する見込みであるため、前回予想を若干下回る見通しです。

営業利益や経常利益は、無線・通信事業における売上増による増益に加えて、「変革の設計図」に基づく構造改革の効果ならびにマイクロデバイス事業の黒字化等により前回予想を上回る見通しです。

なお、今回修正予想における営業利益は、第４四半期連結会計期間において日本無線グループにおける人事制度変更に伴う賞与引当期間の変更による一時費用の増加ならびに事業ポートフォリオ変革推進に伴う費用増加等を見込んでいることから、第３四半期連結累計期間における営業利益より減少する見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加に加えて成形品事業譲渡による特別利益を見込むこと等により前回予想を上回る見通しです。

第４四半期連結会計期間の為替レートの前提につきましては、１米ドル150円、１ユーロ175円としています。

（注）この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

以上